

青森から名古屋まで行き、勉強会と懇親会に参加した。

そこで、圧倒的格上のマインドを目の当たりにし、自分の弱さを突き付けられたのだ。

今までノウハウコレクターとなり、行動してなかった。

何だかみっともない自分が悔しくなった。自分を守り、殻に籠もってきたが、それを破らねば始まらないし、今回の交通費と参加費で8万突っ込んでしまった以上、ただで帰るわけにいかない。

東京駅にいた時にふと思ったので次の3つを自分に課した。

- ①メイド喫茶に行って店のノリに全力で乗っかる
- ②人にキレル
- ③愚痴聞き屋をやる

ただやろうとすると、逃げるのがわかっていたので、マスタングさんとロジャーさんの2人にできなかつたら罰金宣言をしてしまい、無理やりにも行動することにした。

「やるかやらないかじゃねえ...やるんだよ!」とやる気満々で余裕で楽勝だなと信じ込むことにした。

まず、気になっていたけど、行ったことのないメイド喫茶に行ってみようと思い、秋葉原に向かった。とりあえず適当に歩いていれば見つかるだろうと思い、散策した。

電気街の一角にそれらしき、メイドの格好をした人が立っていて客引きをしていた。それを見て、行くのやめたくなった。生身の人間がメイド服を着ていて、よくやってるなあ...と羞恥心が湧いてきた。

「いやあ...キツイっす。メイドはやっぱり二次元に限るよなあ...」と思い帰りたくなった。

しかし、宣言してしまった以上、やらねばならない。意を決して、店内に入ることにした。

入るとすぐに4人ぐらいのメイドさん達が「お帰りなさいませご主人様」と出迎えてくれた。

想像していたが、ヤバイ所に足を踏み入れてしまったなと感じた。

初めは警戒心MAXだったが、しばらくいる内にお店の世界観に引き込まれてしまった。なぜなら世界観の作り込みが徹底されていたからだ。

そこは メイドリーミン という夢の国。パスポートもきちんとあり、その国独特の言語もある。

お手洗い:お花畑

メイドさんと呼ぶ時:にゃんにゃんと呼ぶ

来店:入国 退店:出国

外とお店を繋ぐエレベーター:ドリームジェット

国の通貨:リーミン(なぜか日本の税金が適用される)

飲食物がきた時:メイドさんと一緒においしくなる魔法を唱えなければならない

延長料金:一時間以上滞在する際、ドリームタイムに突入する

などなど、他にもメイドさん達の達の言動や立ち振る舞いが洗練されており、ライブも観戦している内に、気付いたらドリームタイムに突入してしまい、夢の国から出国しなくなってしまう。

出国時の、リーミンが想像を超えてきて、一瞬寒気を感じた。また今度入国したいと思った。



次に人にキレルことをやらなければならない。私は人に怒ることがほとんどない。

怒れないと怒れるけど怒らないは雲泥の差があり、自分は前者である。

なんとなく無難な人間は好かれも嫌われもせず、記憶にも残らない。ただ真面目な人間は人に都合よく利用されるだけということ学んだので、あえて嫌われることをやるというワークをやって見ることにした。

東京駅に戻り、人にキレてみようと思いつつも、別にキレルようなことがない。そこで、駅構内が複雑で訳わかんなかったので、駅員に八つ当たりしているかのようにグイグイ尋ねることにした。

自分の中で抵抗感があつたが、普通に駅員が答えてくれたので、「これぐらいでも、大丈夫なのか!」と拍子抜けした。

そして、最後は愚痴聞き屋が残っていた。これに関しては、かなりグダってしまった。

東京駅周辺をうるちよる徘徊しながら、「やりたくねえなあ、でもやらなきゃ罰金払うことになるしなあ」と思いながら、やろう!と決意してもやっぱりやめとこうとグダグダ東京駅周辺を2時間近く徘徊していた。

いざやろうと思うと足がガクガク震えそうになる。いい加減足がイタイタイだったし、新幹線に向かわなきゃならない時間が30分を切っている。

このままじゃ、ヤバイということで一言二言でもいいからそこら辺の人に聞くことにした。聞くことにしたというより聞かなきゃヤバイのだ。ジュースで釣って答えてもらうことにした。

1人目(1組目)若いカップル

男性「公務員やっているけど、残業いっぱい残業代が払われなくて、キツイ」

女性「飼っている犬が他の家族には懐いているけど、自分には全然懐かない」
→端からみると幸せそうだけど、聞いてみるとそうでもないんやなと思った。

2人目そこら辺に座ってた若い男性

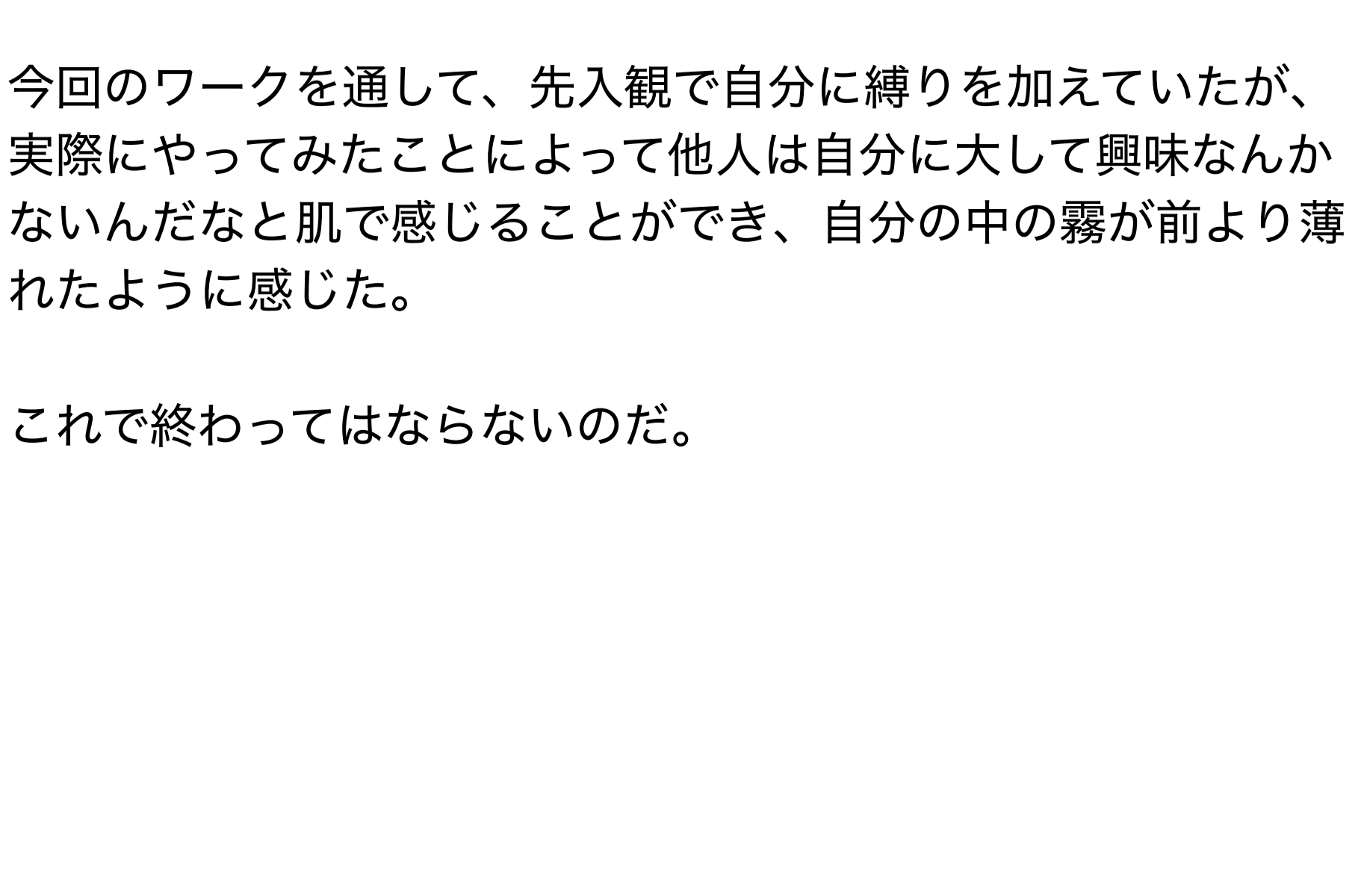
「悩みないっす」
→意味わからん。

3人目体育会系っぽい感じのスーツきた男性

「会社が昔ながらの体育会系っぽい感じで上司が嫌い」
→ジュース渡そうとしたが、別の人に渡してくれと行ってきて心がイケメンだなと思った。

4人目陰気な感じの男性

聞こうとして1秒ぐらいで、全力で拒否する
→蹴り飛ばしたくなった。が、自分も普段こういった所があるのではないかと学びになった。



以上、ノルマ達成である。

今回のワークを通して、先入観で自分に縛りを加えていたが、実際にやってみたことによって他人は自分に大して興味なんかはないんだなと肌で感じる事ができ、自分の中の霧が前より薄れたように感じた。

これで終わってはならないのだ。